

平成18年度からの
新教育課程・「単位の実質化」に関する
学生・教員アンケート調査
(報告書)

2007年2月

北海道大学 高等教育機能開発総合センター
コアカリキュラム調査検討グループ

目 次

はじめに	1
2006 年度コアカリキュラム改革に関するアンケート調査の概要	3
コアカリキュラム・G P A・上限設定・W E B 登録についての アンケート調査用紙(18 年度入学者向け)	7
学生アンケート調査集計結果	9
学生からの意見	11
平成 1 8 年度からの新教育課程・「単位の実質化」に関する アンケート調査用紙(全学教育担当教員向け)	27
教員アンケート調査集計結果	29
担当教員からの意見	33

はじめに

2006年度、高校の新カリキュラムによって学んだ学生が入学した。このカリキュラムでは、学習内容が従来のおよそ3分の2に減少し、特に理系科目の学力低下が危惧された。北海道大学では3年前からその対策として全学教育のカリキュラム改革を検討した結果、平成18年度新教育課程を実施するとともに、以下のような「単位の実質化」(授業時間外の学習時間の確保、組織的な履修指導、履修科目の登録の上限設定など、学生の主体的な学習を促し、十分な学習時間を確保するような工夫)の取組みを進めた。

(1) 成績評価基準の明示と厳格な成績評価

- ・成績評価基準の明示(「到達目標」「評価の基準と方法」をシラバスに明示)
- ・成績評価基準の設定(授業科目ごとのガイドラインの作成)
- ・成績評価結果の公表(授業科目別・クラス別の成績分布をWEBで公表)
- ・成績評価の妥当性の検討(評価の極端な片寄りの点検)

(2) GPAの本格利用

- ・GPAを利用した修学指導の強化
- ・履修登録上限設定における成績優秀者に対する特例措置の基準への利用
- ・授業料免除、成績優秀者表彰、進級・学科分属の基準等への利用

(3) 1年次の履修登録上限設定

- ・原則として、各学期、文系21単位以下、理系23単位以下に上限設定
- ・「1単位の授業科目は(授業時間外を含めて)45時間の学修を必要とする」ことを全学教育科目規程等に明記
- ・「単位の实質化」に対応した授業・自習支援策の開発

この改革の影響を測るため、学務部教務課の協力を得て、カリキュラム、GPA、上限設定、WEB登録等について学生・教員の意見をアンケート形式で調査した。

個々のコメントからは多様な意見が読み取れるが、改革自体の成果は上がっているように見える。実施規則の細部については新たな検討も必要である。

この調査報告を活用して、コアカリキュラムのさらなる改善が進むことを期待したい。

2007年2月

北海道大学 高等教育機能開発総合センター
2006年度コアカリキュラム調査検討グループ
代表 安藤 厚

2006年度コアカリキュラム改革に関するアンケート調査の概要

1. アンケート調査の目的

学生アンケートでは、学生が今回のカリキュラム改革をどのように受けとめているかを知り、カリキュラムの目標と学生の受けとめ方との違いを調べることを目的とした。また、学習状況についても質問項目を設けた。最後に、今後のカリキュラム改善の参考とするため、自由記述欄も用意した。

教員アンケートでは、「単位の実質化」に関わる改革を重点に、教員から見た学生の変化や教育改革の影響ならびにそれに関する意見を集めることを目的とした。

2. アンケートの対象と調査用紙の配布および回収の方法

学生アンケートの対象は、平成18年10月現在において1年次に在籍するすべての北大生で、アンケート用紙は2学期の履修登録確認の際に対象者全員に配布した。質問項目は資料1の通りである。対象学生総数2,717名に対し回収数333通、回収率は約12%とあまり高くはなかったが、その分布は各学部に一様に広がっており、データとしての信頼性はある程度確保されているものと推測される。

教員アンケートの対象は、2006年度1学期に全学教育科目を担当した全専任教員537名である。アンケート用紙は学内便で配布・回収した。質問項目は資料2の通りである。回収数261通、回収率は約49%であった。

3. 結果の概要と考察

1) 学生アンケート

系による差異を確かめるために、全体の数値と併せて、文系・理系、さらに理系を医学系とそれ以外に分けて表示した。しかし、これらの分類による大きな変動はみられないので、全体の数値をもとに結果をみていく。

まず、選択科目を決定した理由のほとんどは、講義題目、シラバスを見たか、「おもしろそう」だからである。学生に選択されるためには、内容が「おもしろい」ことが学生に伝わるようなシラバス、講義題目が必要である。

今回の改革で一般教育演習の受講者は、前年度の約3,000名から2,000名に減少した。一般教育演習を受講しなかった理由は「魅力がない」あるいは「必要な単位数はとった」からである。やはり、講義内容を魅力的にする必要がある。一方では、上限単位数内に必修科目が多いと必然的に選択科目は受講できなくなる。一般教育演習を全員が受講すべき重要な科目と考えるなら、上限設定から除外するか、必修科目とするなど、履修促進策の検討が必要であろう。

「一般教育演習以外で上限設定のためにあきらめた科目はありますか？」との質問には7割を超える学生が「ない」と答えている。2学期には、大多数の選択科目に上限設定はそれほど強い影響を及ぼしてはいないようである。

登録の際に選択の余地を広げるため、「予備科目」を登録し、あとで登録科目と入れ替えることのできる制度が設定されたが、9割近くが知っていたが利用はしていない。この種の余裕をもたせることは意味があるので利用は少なくとも制度は残すべきであろう。

1学期の授業内容に不満足な学生は1割未満であり、良好である。

授業のおよその出席率は、9割以上の学生が80%以上出席と回答している。授業アンケートのデータや授業での実感からおおよそ予想はしていたが、これも良好である。昔の学生よりも出席に関してはまじめになったことがうかがえる。

ところが、1日の自習時間は約6割の学生が1～2時間で、2～3割の学生は30分未満である。上限設定の下でも1日の講義数は2科目程度にはなるはずで、期待される1科目あたり4時間の自習時間とはギャップが大きい。

平日の自習場所には、図書館と空き教室が多く使われている。自習を促すためには図書館の整備はもとより、空き教室をさらに自習に使いやすくする必要がある。

1学期の成績評価には4割が不満をもっている。北海道大学では、成績評価基準の設定や成績分布の公表など、他大学に先んじた仕組みがあるにもかかわらずこの値である。さらに公平な評価を促す仕組みが必要であろう。

履修放棄で不可になった科目がある学生は1割程度である。従来よりも履修放棄が少なくなっているようである。

GPAの数値は8割が気にしている。今のところGPAは積極的に利用されているわけではなく、上限設定における成績優秀者に対する特例措置や、授業料免除の基準に使われる程度である。それでも気にしていることから、成績を数値化することの重要性が確認された。ただし、数値が一人歩きしないよう配慮が必要であろう。

2学期の上限単位数については、少なすぎると答えた学生は1割にすぎない。最後の自由記述から、1学期の上限単位数は少ないと感じている学生が多いが、2学期はそうでもないようである。魅力的な科目が2学期には少ないという意見もある。魅力のある選択科目を1・2学期に平均して開講するなどの工夫が必要であろう。

2) 教員アンケート

新入生の学力については、35%の教員が何らかの学力低下を感じている。実際には新入生には浪人生が含まれるために、今年度入学者のうち新カリキュラムで教育を受けた者はおよそ半分である。来年度はほぼ全員が新カリキュラムの学生になるため、この比率はさらに上昇することが予測される。

およそ半数の教員は「単位の実質化」に配慮し予習復習が必要な授業を展開した。これが学生の自習時間の上昇を促したものと考えられるが、学生アンケートの結果から見ると、まだ不十分な面があるのかもしれない。

学生の授業態度が昨年より熱心だと感じたのは24%にとどまる。

学生が昨年より予習復習に時間をかけていると感じたのは19%だが、初めて全学教育を担当した教員で熱心に予習復習をしていると感じた割合を加えると全体の3割に及ぶ。学習成果についての比率もほぼ同じ割合である。今回の改革の成果がある程度現れていると

思われる。ただし、「3割」が良好な値であるか否かは予断を許さない。さらに努力が必要であろう。

自分の担当した授業科目全体の前年度のGPA値を意識して成績をつけた教員は36%であった。適正な成績評価を考えると、この比率はもう少し向上が望まれる。

学生が授業の内容を見てから履修を決められる制度を望む声に対して、履修者の確定が2回目の授業より後になっても支障はないかとの質問に対する賛否は、ほぼ同率である。学生に実際の授業を見てもらいたいと思う反面、履修者が確定されないまま授業を2回も行うことに対する危惧が多いことが推察できる。シラバスの内容の改善などの方策が必要であろう。欧米のシラバスは15回分の講義内容が綿密に記載されている。

一般教育演習で履修者が極端に少ない場合については、6割の教員が開講中止に賛成している。開講中止の最少人数については「5名以下」とする意見が多い。少人数教育が効果的なことは確かだが、1～2名で活発な討論ができるか？といった教育効果の問題や、教員数が今後毎年減ることを考えると、効果的で効率的な教育の仕組みが必要であろう。

4. まとめ

今回の教育改革で最も危惧されたのは、上限設定によって学生の学習状況が思わぬ方向にいくことであった。幸いなことに、今回の調査によれば、学生の学習態度は良くなり、自習時間も増えているように思われる。GPAの全学平均値は、17年度1学期：2.23から18年度1学期：2.35に上昇した。学期末試験の成績(素点)が昨年よりも平均値で10ポイント上昇した科目もあるという。大学でも予習復習するのが当然と考える空気が生まれつつある。この面では、改革されたカリキュラムの維持発展が望まれる。

ただし、GPA値の利用方法や、全学教育における一般教育演習の在り方、成績評価の適正化など、今後も試行を重ねる必要のある改善事項が散見される。

本調査の結果や個別のコメントに留意して、新たな改革に結びつけるよう期待したい。

2006年度コアカリキュラム調査検討グループ

細川 敏幸

コアカリキュラム・GPA・上限設定・WEB登録についてのアンケート

北海道大学の教育内容とシステムは、平成15年に「進化するコアカリキュラム」として「特色ある大学教育支援プログラム」に選定され、わが国の大学における教養教育の一つのモデルとなりました。

今年度からは、単位の実質化を図るため、履修登録単位の上限設定、GPAの本格利用を実施しました。

このアンケート調査は、学部1年次生全員(約2,600名)を対象として、これらのシステムの導入の影響を調べ、その結果にもとづいてカリキュラムおよび教育方法の改善策を検討するために行います。お忙しいことと思いますが、後輩たちがより良い教育を受けられるよう、調査にご協力をお願いします。

北海道大学 高等教育機能開発総合センター
コアカリキュラム調査検討グループ

1. 所属する学部(該当の にチェック)

1文 2教育 3法 4経済 5理 6医
7薬 8歯 9工 10農 11獣医 12水産

2. 学科等の別があれば、その名称を記入して下さい。[]

履修科目・GPA・履修登録上限設定について(該当の にチェック)

3. 選択科目を決定した理由は?(複数回答可)

1 授業科目・講義科目名を見て 2 シラバスを見て
3 友人と相談して 4 先輩からの情報をもとに
5 専門に関係するから 6 専門に関係ないが、面白そうだから

4. (一般教育演習を受講しなかった方へ)受講しなかった理由は?(複数回答可)

1 抽選に外れたから 2 科目に魅力がなかったから
3 必要な単位数はすでにとったから
4 上限設定のため仕方なしにあきらめた
5 上限設定外の科目で進級・卒業要件に含まれるなら受講したい

5. 一般教育演習以外で、上限設定のため仕方なしに履修をあきらめた科目はありますか?

1 なかった 2 あった [例:]

6. 予備科目を5月/11月に他の登録科目と入替えできる制度を利用しましたか?

1 制度を知らなかった 2 知っていて利用しなかった
3 利用した

7. 第1学期の授業内容に満足していますか?

1 不満 2 やや不満 3 満足 4 たいへん満足

8. 授業のおよその出席率は?

1 40%未満 2 60% 3 80% 4 100%

9. 平日1日あたりのおよその自習時間は?

1 30分未満 2 1時間 3 2時間 4 3時間 5 4時間以上

10. 平日の自習の場所は主にどこでしたか?(複数回答可)

1 図書館 2 空き教室 3 自宅(下宿) 4 その他 []

11. 履修科目の成績評価の結果に満足していますか?

1 不満 2 やや不満 3 満足 4 たいへん満足

12. 登録確定後に履修放棄して「不可」評価となった科目がありますか?

1 なかった 2 [科目] あった

13. GPAの高・低いが気になりますか?

1 気にしない 2 気にしている

14. 第2学期の履修登録の上限設定単位数(特例措置等を含む)は十分でしたか?

1 少なすぎる 2 ちょうどよい 3 多すぎる(余裕があった)

15. コアカリキュラム・GPA・上限設定・WEB登録についてご意見をお聞かせください。(裏面に)

コアカリ学生アンケート 集計表

比率は四捨五入、重複を許す場合の和は100%にならない。 【回答数】

		総合	文系	理系	医系	医系以外の理系
		333件	100件	233件	47件	186件
選択科目を決定した理由	授業科目・講義題目名を見て	63%	56%	66%	70%	65%
	シラバスを見て	83%	94%	79%	85%	77%
	友人と相談して	22%	18%	23%	36%	20%
	先輩からの情報をもとに	6%	6%	6%	13%	5%
	専門に関係するから	18%	25%	15%	11%	16%
	専門に関係ないが面白そうだから	50%	44%	52%	51%	52%
一般教育演習を受講しなかった理由	抽選に外れた	7%	8%	6%	2%	8%
	魅力がなかった	25%	35%	21%	13%	23%
	必要な単位数は、すでにとった	20%	11%	24%	40%	20%
	上限設定のため、あきらめた	6%	4%	7%	2%	8%
	上限設定外の科目で進級・卒業要件に含まれるなら受講したい	7%	3%	9%	4%	10%
一般教育演習以外で、上限設定のため仕方なしに履修をあきらめた科目	なかった	76%	81%	73%	72%	73%
予備科目を5月/11月に他の登録科目と入替えできる制度を	知らなかった	7%	6%	7%	9%	7%
	知っていて利用しなかった	86%	89%	85%	85%	85%
	利用した	7%	5%	8%	7%	8%
第1学期の授業内容に	たいへん満足	3%	5%	2%	0%	3%
	満足	52%	52%	52%	57%	51%
	やや不満	36%	33%	37%	39%	37%
	不満	9%	10%	8%	4%	9%
授業のおよその出席率は	40%未満	1%	2%	0%	0%	0%
	60%	2%	3%	2%	0%	3%
	80%	31%	38%	28%	28%	28%
	100%	66%	57%	70%	72%	69%
平日1日あたりのおよその自習時間は	30分未満	28%	22%	30%	21%	32%
	1時間	42%	48%	40%	51%	37%
	2時間	22%	18%	24%	17%	26%
	3時間	5%	8%	4%	9%	3%
	4時間以上	2%	4%	2%	2%	2%
平日の自習の場所は主に(その他:北部食堂・自習室)	図書館	63%	73%	59%	57%	60%
	空き教室	11%	14%	10%	11%	10%
	自宅(下宿)	73%	77%	72%	83%	69%
履修科目の成績評価の結果に	たいへん満足	8%	11%	6%	2%	8%
	満足	49%	44%	51%	51%	51%
	やや不満	33%	33%	34%	38%	32%
	不満	10%	11%	9%	9%	10%
登録確定後に履修放棄して「不可」評価となった科目	なかった	91%	85%	94%	98%	93%
GPAの高い・低いを	気にしない	21%	26%	19%	26%	17%
	気にしている	79%	74%	81%	74%	83%
第2学期の履修登録の上限設定単位数(特例措置等を含む)	少なすぎる	12%	14%	11%	9%	12%
	ちょうどよい	54%	49%	56%	55%	56%
	多すぎる(余裕があった)	34%	37%	33%	36%	32%

問 15 . コアカリキュラム・GPA・上限設定・WEB 登録についてご意見をお聞かせください。

1 . 文学部

3 . 時間割に授業がまったくない時間帯もったいない。(月 1、3 など)。その割りに「1 時間の中に多くの授業を詰め込みすぎている。(月 5、木 1~5)

5 . W E B 登録が学内でしかできなかったのが面倒だった。

6 . 上限設定は必要ないと思う。

7 . 単位の上限設定は必要ないと思います。後期は十分な単位数を取ることができたのですが、前期の 21 単位(文学部)というのは少なすぎます。興味があった授業が前期に多かったため、取れなかったものが多すぎました。

一般教育演習、外国語演習などの抽選の時期が遅すぎると思います。授業が始まる直前に抽選するのは、授業をする先生にとってもややこしいと思います。(第 1 回の授業に当選が確定していないため、人が多く集まりすぎてしまうとか)

8 . G P A は就職の際に大きく影響するものだろう。

それは学生に「勉強せざるを得ない」状況を与えるという意味で良いように思える。しかし、逆に言えば、学生が「効率よく良い成績を取ることを重視する」という傾向が出てくるのではないだろうか。そのために学生は何をするのか。まず、予想されるのは、「鬼仏表」などを駆使し、「評価の甘い先生」の講義を受講するようになる。あまり努力しなくとも良い成績が得られるようになるなら、それを選ばない理由はないということになる。

また自分の得意な科目を集中して受講するという事態が予想される。文系ならば、文系の、理系ならば理系のという具合である。北大の全学教育科目は基本的に学部の分け隔てなく設定されている。しかし、当然のことながら、自分の専門や得意分野からかけ離れた科目(例えば文系の私ならば理数系)を履修する事には不安がある。そして結局は G P A が下がることを恐れ、履修をやめてしまうのである。G P A (そして単位上限制)の存在は全学科目の意義を低下させてしまうようなものだと考えている。

また別の話になるが英語 の成績設定で行われたトーフルの試験で成績優秀認定(530 点以上獲得)された者への待遇は「異常」ではないかと思える。たった一度の試験で高得点を取った者が受講してもいない科目まで「秀」になるというのはどう考えてもやり過ぎである。

12 . 大講堂の科目など、授業設けずに、とりたくもない科目をとらされたり、抽選に外れてレベルの低い外国語演習を受けなければならないなど、結局学生のためになっていないと思う。前期も後期もそのようなことがあった。

13 . w e B 登録が自宅できると時間があるときに楽にできるのですが。

14 . 上限設定は必要ない。たくさん学びたい人がかわいそう。前期にたくさんとって、後期にたくさん休む人の数を減らしたいなら、下限を設ければよい。とにかく、上限設定

は(自分には影響があまりなかったが)やめるべきだと思う。

15. web登録はとても便利だったので、これからも続けてほしいです。

18.

- ・web登録は自宅からできなければ意味がない。
- ・予備科目が入れ替え・科目取り消しは時期が早すぎて使えない。
- ・内容を知らずに登録させられる「抽選科目」こそ取り消したかった(基礎科目を含む)。
- ・大した問題ではないが旧称(分野別・複合)の方が個人的には内容がわかりやすいと感じた。
- ・上限設定をしても、空き時間を勉強に費やす学生は(授業の難易度が同じである限り)増えないと思う。単位を実質化したければ「予復習が必要な内容評価基準」にすればよく、そうすれば学生も履修数を自分でセーブするだろうし、(そうしなければ落とすから)成績基準を満たせるなら学習時間にこだわる意味もあると思えない。
- ・「大学と社会」のアンケート結果で「学部を変えたい」学生が2割に上るとか聞いたが、昔の大きくくり制に戻せないのだろうか
- ・理系の前期が「上限のほぼ全てが必修で埋まる」状況だったらしい。教養をやる意味がなくなるような状況はやはり異常ではないか。彼らは北大自慢のコアカリキュラムがほとんど学べない半期を過ごしたのだから。
- ・むしろ入学したあとでやる気のある前期に多くの授業を取りたかった。(前期20単位後期24単位の登録)

19. web登録はいいシステムだ。わかりやすいし、手間もかからないから。

25. 履修後に放棄しても不可になり、成績に影響するのはよくない。上限設定は廃止すべきだ。

26. web登録の方が楽になってよかったと思う。上限は設けなくても自由でいいのでは？

27. 前期の上限設定をあと4単位ほどあげてほしかった。

28. webで登録するのは案外やりやすく、便利だと思った。

2. 教育学部

30. web登録は短時間で窓口に並ぶことがほとんどなしに簡単に利用できたのでとてもよかったと思います。

31.

GPA: 評価基準が人によって違いすぎる。全員の必修科目以外にGPAを導入するのは、そもそも前提条件があまりにも不確定すぎ、無意味であると思う。GPAは全面必修科目だけでよい。ましてやクラスわけなどに使うのであれば、なおさらそうすべきだ。

上限設定: 不要。去年までと受けられる授業数が違うのは不当。54万×(1-21/去年までの平均単位)分返還してほしい。なぜ、さぼりたがるほうに基準をあわせ、やる気を

抑えるのか、よくわからない。

Web：非常に便利。記入ミスもすぐにわかるし、何より見やすい。

33．後期は特例措置と再履修分で8単位も上限単位数に余裕があったが、前期と異なりより専門性の高い科目が増えた上に、同一カテゴリー(思索と言語、芸術と文学など)に属する科目が同じ時間帯に重なっているために、選択幅が狭く、まったく生かすことができなかった。これでは上限設定単位が増えても意味がないと思う。

39．Web 登録をしいたら画面が一学期のものになっていて、変だなとは思ったが、少しいじってしまい、少し面倒なことになってしまった。事務の関係で一学期の画面になっていたらしいが、前もって掲示しておくとか、事務と学生用が連結していないようにするかしてほしい。

3．法学部

40．ミスに気づいたら、期限のあとでも直してほしい。

44．WEB登録を実際にやってみて、前期の紙の提出による方法と比べると、科目番号を手書きで間違えないように書いたり(書くだけでよいので?)、提出のために並んだりする煩わしさがなくて良かったと思います。

46．Web登録のほうが簡単でよいと思う。

48．文系の月曜の3限がロシア語上級しかないので、一年生の大半が空きコマとなってしまう、時間を有効にせずもったいないので、何とかしてほしいです。

49．途中で授業をやめることができるようにしてほしい。想像していた授業と違ったり、負担が大きいのにあまり得るものがない授業を受け続けるのは「不可」にならず、授業出席を中断できる制度をつくってほしいです。

51．WEBでの登録の仕方はあまり時間をとったり、提出するのに混雑が生じたりすることがなく、思っていたよりも簡単にできたので、よかったと思う。

52 上限設定はないほうがよいと思います。新入生(私の友達)はかなり悩んでいましたし、先輩も「それはかわいそうだ」と言われてしまうくらいです。必修科目を含めてしまうと学びたい分野がかなり絞られてしまいますし。それと、受講したい講座が同じ時間帯というのも気になりました。例えば、国際関係入門とアメリカ政治概論。この両者はどちらも履修したいと考えていた学生が多かったんじゃないかなと思います。

Web登録では注意さえ怠らなければ学生としては非常に楽な制度となっていましたので、引き続きこの制度でお願いしたいと思います。

56．上限設定が微妙でした。後期にいきなり増やされても、前期の単位数と時間割に慣れてしまっていたので、ほとんど前期とかわらない数で登録しました。最初から学部の上限を多めにして「余力がありそうなら上限いっぱいまで履修してもよい」という形にしたほうがよいと思います。

58．前期は上限が低すぎて、好きな科目が取れなかったが後期は余裕があり、よかった。

59 . 上限設定については、もう少し増やしてもよいのではないか。Web 履修は便利でよい。

60 .

- ・ web 登録について：前期までのように紙に書いて提出のほうがよい。確実に安全。Web だと本当に登録にできたのか不安が残る。
- ・ 一学期の履修登録の締め切りが早い。
- ・ 同じ時間の科目を見る余裕がない。一回目に出なければ単位を認めないところもあるのでキツイ。特に必修選択科目でそういう余裕がないと、「自分と合わない」とか「思ったのと違う」ということが起き、大変である。
- ・ 単位上限設定は必要ないと思う。制限したところで特に大きな効果があるとは思えない。やる人はやるし、やらない人はやらない。特に必修科目が多い学部の人、自分の取りたい科目が思うように取れず逆にやる気を失うのではないかと....。

67 . 単位上限設定や GPA はいらない。

68 . シラバスと内容の違う授業があった。主題別科目の選択必修があると、自分で自由に選択できる科目が少なくなってしまう。(特に一学期では上限単位数 GPA 数が少ないので困った)

69 . Web 登録が思ったよりも操作が簡単でやりやすかった。

4 . 経済学部

73 . 一学期の上限は少なすぎると思う。2 学期より取りたい講義がたくさんあったのに上限のために履修できなくて残念だった。

74 . Web 登録は楽でよかった。

75 . 配布されたシラバスと hp のシラバスで異なる点があったため、どちらを信用すればよいかわからなかった。全学教育の制限制度(理系のみ履修可等)を教授にきちんと把握しておらず、授業の抽選(授業内で行なわれた抽選で、一般教育演習等の抽選ではない)で受かったにも関わらず、受講できなかった授業があったので、今後はそのようなことがないようにしていただきたい。(教授と授業内容のことで思い違いのないようにしてほしい)人数をあらかじめ限定する授業では、抽選の可能性が有ること等をシラバスに表記してほしい。

76 . GPA が導入されたことによって、不可をとると成績が下がり困るので、苦手な科目を取りづらくなってしまったと思う。それに高い成績を得ようとする人は自分の好きな科目・得意な科目ばかり選ぶと思うので、どうしても狭い分野にとどまってしまうと思う。これでは教養科目のもつ意味が損なわれてしまうのではないか。

77 . 授業が固まっているので、散らしてほしい。

78 . 上限設定は最初は嫌だとおもったけど、実際受けてみて丁度よかったので設定を設けていただいてよかったと思います。でもやる気をもって入学してきているので、設定の理由を学生にもう少し強く説明する必要があると思います。

GAP は私はあまり体調が安定しないので気がかりです。やる気はあってもできないときがあり、悔しいです。前期も必修を落としてしまい、大変落ち込みました。

79. 上限設定は必要だと思います。前期は大学の講義がどういうものかわかっていなかったのので、上限設定は必要ないのではないかと思いましたが、実際は必要だと思うようになりました。

「情報学」では提出したレポートがパソコンのミスによって消えるということがあったので、web 登録はかなり不安でした。できることなら履修登録確認表をもっと早くに出してほしいです。

80. 時間帯をもう少し考えてほしい。とりたい科目が重なったり、1時間目と5時間目だけになったりするの。

88.

- ・一学期の上限設定数をもっと増やしてほしい。必修・選択必修・要望・要履修などで21単位を消化してしまいました。
- ・一方二学期はGPAの特例・再履修分の単位数が合わせて29単位までとることができるのに、取りたい科目がなかったり、時間割上で15~52組までの選択となっていたりと無駄な時間が多かった。
- ・シラバスと講義の内容がちがった。受講をキャンセルしたい場合に、「評価せず」というものを復活させてほしい。
- ・web 登録は最後の画面が出てこなくて、不安になったので、今後そういうことがないようにしてほしい。
- ・GPAはでっかく数値化しているので、科目抽選ではなく、GPA上位の何名までといった形に変えてほしい。

91. 上限設定について

前期は足りないと感じたが、後期では逆に余った。後期で増えた分を前期に使えたらよかった。

92. 必修と重なった講義は全部取れない現在の状況をなんとかしてほしい。

93. 上限を設定することで、厳選した授業だけに打ち込まなければならなくなるので、良いことだと思う。上限に不満がある人も多いようだが、実際これ以上は難しいと思う。

97. 履修科目を決める際はシラバスが一番の情報源にしています。シラバスを熟読していったとしても、実際の講義が自分の想像と異なる場合があります。授業によっては最初から授業というところもあるし、外国語演習や一般教育演習などでは希望調査の提出期限が短い。

98. 一学期の方が履修可能な授業が多いのに、一学期の方が授業が少ないのは不満。一学期の履修上限を30単位ほどにして、2学期の履修上限を20単位ほどにすべきだ。

99. ・学期の上限単位数の増加・前期への面白そうな授業の集中をやめてほしい。

- ・文系も化学・物理などを学べるように工夫してほしい。

- ・一般教育演習において人数が少ないところもあるのに、人を限定するのはよくないと思う。
 - ・「不可」の多い人にペナルティーを課せば、個々の能力も上がると思うので、上限は廃止するべきだ。
- 100 . 一学期の上限設定単位数が少なすぎると思う。Web 登録は楽でよいけど、ちゃんと登録できたのか、よくわからなかったのが不安だった。

5 . 理学部

- 101 . 学外からもアクセスできるようにしてほしい。
- 106 . 1 年生前期に上限を設定すると、授業の少ない状態に慣れてしまい、後期に上限が増えてもあまり授業をとりたけなくなる。入学直後から多くの授業を取っておいた方が長続きすると思う。
- 109 . 先生によって評価の基準が異なるので、同じ「秀」や「優」でもその価値は違うと感じた。
- 112 . 休講情報をネットで見れるようにしてほしい。
- 113 . 一学期はとりたかったけど取れなかった講義が 8 単位あった。二学期は特例措置・再履修分合わせて 8 単位余った。そのときにしか取れない講義ばかりなので、常に取りたい単位数が一定になるわけではなく、今回みんなが単位を余したからといって、次はまだ単位の上限を減らそう、などと考えてほしくありません。
- 115 . 二学期の上限単位数が一学期 + 8 単位は多すぎると思います。
- 117 . WEB 登録で確認を押しても確認画面に何回も戻った。上限を増やしてほしい。
- 119 . 前期もう 2 単位くらい授業を取りたかった。選択必修科目はすべて取れるような上限設定にしてほしい。
- 125 . 一学期の上限が少なすぎた。逆に後期はあまり面白そうな授業がない割に上限が多すぎてもったいない。
- 132 . 上限設定は自由な学習を奪っていると思う。WEB 登録は面倒だし、できるのか不安になる。また融通がきかない。
- 136 . 上限をもう少しゆるくしてほしい(2 年 1 学期以降)。一年 2 学期の上限 31 単位はちょうどよかったのでこれくらいにしてほしい。

6 . 医学部

- 140 .
- ・ GPA はやや気になるが平均と比較して良くても、どれくらいが理想なのかよくわからない。特に GPA に含まれない科目があるのはなぜか理解できない。
 - ・ 上限設定は前期はある程度目安として利用できたのでよかった。個人的には前期の上限をぎりぎりまで取ってかなり忙しかったので、今後はそれくらいで良いと思う。私は講

時上限にかなりの余裕があるが、2 コマで2 単位の必修がいくつかあるので授業時間数はあまり減っていない。他学部の友達に前後期上限まで取ったがまだ必修単位数に達していない人がいて、学部間での差に疑問を感じた。

- ・WEB登録は簡単ですぐできるし、数字記入ミスがないのでいいと思う。ただ、学内からしかできないのはやや不便だった。

141 . 上限設定はいらぬ。

143 . 上限設定は全く意味不明なのでやめた方がいいと思う。自習時間がなくて増える訳がないと思う。空きコマが増え、有意義でなくなる。

145 . 上限設定はいらぬと思う。受講したい科目を受講できなかったり、受講したくない科目を受講することになったりした。

150 . 一学期は上限設定でとりたい講義を取れなかったが、二学期は逆に余裕ができた。一年次一学期の上限単位数を増やしてもよいと思う。

154 . 上限設定単位数で、後期は実験などで大変なので、前期のうちにもっといろいろな講義を受講できなかったのが残念です。必修科目の関係などで受講したくてもできないものがあるので、前期の内にもっと単位数を取れるようにしてほしいです。そうすれば、後期で単位数のやりくりを気にせず、好きな講義を受講できたのにできなくて残念です。でも4月の大学の時間割の作り方を知らない状況ではどれくらい単位数が適当なのかわからないので、目安としてあればと思います。

152 .

- ・一度授業を受けてから履修の抽選を行うべきだと思う。抽選でもれてしまったため、全く興味のない授業を受けなければならなかったが、GPAが気になるため、捨てきれず、嫌々勉強した。自分の取りたい科目が選べないようでは、履修登録システム自体意味がないと思う。
- ・上限については丁度よかった。無駄にやったら履修する人がいないので、続けるべきだと思う。私はたくさんとりたかったが、自習時間のことを考えると丁度よかった。
- ・GPAはあまり平等ではない気がする。その先生によって全く違うつけ方をするので、先生の厳しさで授業を選ぶべきではないから。あまり、GPAを重視してほしくない。
- ・WEB登録はとても楽でいいです。いつでも確認できるし並ばなくていい。

157 . 外国語演習の抽選方法を少し見直してもらいたい。例えば、英語とドイツ語で希望した場合、どちらも当選ということもなくすなど

160 .

- ・前期の上限設定が厳しすぎる。
- ・後期の抽選申し込みは1回目の講義が全て終わった段階にしてほしかった。(シラバスの内容だけでは、具体的に内容がわからない講義があり、申し込みをしてから後悔した科目があったので)今後も抽選申し込みが今期の時期と同じということになるならば、「評価せず」を復活させるなど、学生が意欲を持って学べるような制度にしてほしい。

161 .

- ・ G P A 制度；ただ科目によって優とか秀とかがつく割合がかなりことになってくるのは改善するべきである。
- ・ 上限設定；自分の学部は上限単位が前期 23、後期 23 単位までとなっていたが、実際にとった単位は前期 23、後期 17 であったので、上限単位を前期 27、後期 19 にした方がいいと思う。
- ・ W E B 登録；学内のパソコンだけでなく、家のパソコンでもできるようにしてもらいたい。

7 . 薬学部

162 .

- ・ 上限設定は必ずしも必要とはいえない。
- ・ W E B 登録では、卒業、進級要件をみたすのにあと何単位必要かといったような情報があれば、勘違いを防げて時間割のプランも計画的にたてられると思う。
- ・ シラバスや学部の実行教育課程表(全学教育について)の説明が不十分。

165 . 上限設定について；後期は多く、前期は少なかったように思う。できれば前期の方を多くしてほしい。(後期よりも前期の方が選択科目が充実していたように思う)

168 . W E B 登録は思ったよりも簡単でよかった。

169 .

- ・ コアカリキュラムについては情報がいき渡っていきなくよくわかりません。
- ・ G P A は評定から明確に比較基準が作られていて良い制度だと思います。
- ・ 上限設定は科目の選択の幅を狭めるので、絶対に無くした方がよい。しかし、取る以上は最後までその科目を履修するべきだと思うので「評価なし」復活させなくてよいと思う。
- ・ W E B 履修登録は便利なので、続けてほしい。

171 . 一学期の上限単位数は厳しかった。

8 . 歯学部

176 . G P A について；せっかく点数をつけるのですから、学年平均、学部平均だけでなく、偏差値とそのグラフや学部内での順位なども何らかの仕方で知らせていただけるなら、今後の学習、研究のために役立つと思います。

177 . 上限設定なしに、自由に履修を決めたい。

9 . 工学部

186 .

- ・ W E B 登録はやってみたら手書きより格段と楽だった。

・上限設定があると卒業単位に必要な科目をたらなければならない、やりたいことができなくなってしまう。25 コマとる人は(その後いらぬのを捨てる人)がいると上限を設けたくなるのもわかるが、前期の設定には厳しすぎる。

187 . W E B 登録を自宅でもできるようにしてほしい。

190 . 上限単位数は充分にあるが。魅力のある講義が少なく、仮にあったとしても時間帯の都合で取れないことが多々あった。時間割の編成、講義の充実を図ってほしい。W E B 登録については、便利であり、操作も手軽でとてもよかった。できるのであれば、学内 P C だけでなく、自宅の P C からアクセスできるようにしていただきたい。

191 . 工学部はコース分属があるので自分の番数とか、偏差値(G P A)とかがほしい。自分がどの位置にいるのかわからないのは不安だ。

195 .

・コアカリキュラム ; 教養は基本的に自分の興味に応じて科目が選択できてよいが、科目によっては文系、理系の制限があって取れない。シラバスに注意書きなどが必要だが、制限はなくてもよいのではないか。

・ G P A ; 評価基準がはっきりして目標が立てやすい

・ 上限設定 ; 一定の効果があって良い面もあると思うが、一学期の制限はきつ過ぎる。選択科目が二つでは選択肢が少なすぎる。

・ W E B 登録 ; 非常に楽だった。今後は科目の紹介をシラバスと同じくらい内容を充実させてくれると履修科目を選ぶ際にも今よりずっと楽になると思う。

199 . 秀評価がよくわからない。以前のもの(優)との扱いはどのように区別されているのか。

200 . W E B 登録が成功したのか不安だった。

202 .

・ W E B 登録はちゃんとできたか不安だった

・ 5 限は部活と重なるため、授業がとり辛かったため、選択科目を他の時間にももっとつくってほしい。

・ 後期は特例措置や再履修分で上限単位数が多すぎて前期は足りなかったのもう少し平均的な上限設定にしてほしい。

204 . 一学期は一番勉学にやる気があるときであるにもかかわらず、上限設定があるため、たくさん授業を取りたくても取れない。

205 .

・ 二学期の特例措置分を一学期にとれたらよかった。(一学期の方が授業が面白そうだった)

・ W E B 登録は簡単で楽だった。

208 . 通常の上限単位数(23)が少し多い。予習復習にもっと時間をまわしたい(必修教科)

209 .

・コアカリキュラムについて；時間もあいていて単位もまだのこっているのに、講義を取りたくても空いている時間には外国語の演習しかなかったり、抽選で外れてしまったりと、講義が取れなかった。多くの知識を得て、見聞きを広げたい人もいるので、この変の問題をどうにかしてほしい。

・G P Aについて；G P Aが学科分属などに関わってくるのは知っているが、ほかに関わることがあるのかよくわからない。例えば奨学金や就職など

・W E B登録について；履修届の「学生控」をもらったりしないので、何か不安を感じた。

216 . W E B登録はできるなら自宅からでもできるようにしてほしい。

217 .

・W E B登録は簡単だが、ちゃんと登録されたか不安だったので、紙のほうがよい。

・再履修分の単位数の特例措置は該当者のみに限るべきだと思う。

・必修科目の担当者には北大の先生にしてほしいです。

218 .

・W E B登録が自宅でもできるようにしてほしい。

・G P Aで秀の基準が優の中で特に優秀な者とする点変換で不利が生じる、なるべく不利にならないように、秀優良可の割合と調節してほしい

・上限は「ちょうどいい」としてチェックしておいたが、少しだけ少なく感じる。2~3単位だけあげてほしい。

220 . W E B登録期間の一日目に登録しようとしたら履修上限が0単位になっていたのに、混乱を招くおそれがあるので、直してほしい。

223 . 前期上限が23単位では少なすぎだと感じました。取りたいものが33単位程あり、切らなければならなかった。

225 . 上限設定はいらぬ。

228 . W E B登録は楽でよかった。

230 .

・一学期の上限が少なすぎる。

・二学期は一学期に比べ、興味を引く選択科目が少ない。

・W E B登録、再履修が極めてわかりにくい

・第二外国語もこっちに組を選らばせてほしい

・履修登録確認表をもらえる日などが少なすぎる。

231 . G P Aに関して；成績の目安としてはわかりやすいが、単位を多くとれば、とるほど、G P Aが下がってきます。将来的にG P Aはどのように採用されていくのでしょうか。

232 . W E Bによる履修登録は紙面での提出と比較して、何度でも変更ができる所がよいし、楽であるので、続けるべきだと思う。

233 . W E Bは楽

235 . 前期の上限単位数が少なすぎる。

- 236 .W E B 登録は登録期間が長くてよかった。けどちゃんと登録されているか不安だった。
- 237 . 前期に魅力的な講義が多かったため、上限設定のために履修できないのが残念です。
- 244 . 上限設定はアイデア自体はよいと思うがもっと上限の規制を緩くしてほしい。
- 247 . W E B 登録は前期の紙での提出に比べ、ミスも少なく時間もかからなかったのがよかった。これからも続けてほしいと思う。
- 248 . 上限設定はあるとしても実は皆そんなにいっぱいっていなかったのではいけないと思う。しかし、第一学年の一学期は上限があった方がいい。どれくらいとればいいのかの基準になるからです。
- 250 . 選択科目を一限に持ってこないでほしい。戦争史の分野の選択科目がほしい。
- 251 . 成績を偏差値または番数で表示してほしい。(コースの分属のときの目安になるため)
- 253 . もっと選択科目の時間割を充実してほしい。無駄にあいてしまうコマが結構できてしまっていて時間ももったいない。
- 254 . 興味があっても成績良くなかったら G P A が下がるということを気にして気軽に科目を選べないです。
- 258 . 第二外国語が 2 コマとも一緒に追加できたところや学部を選択することで、自分の履修可能な科目だけが表示されるのはとても効率がよかった。
- 260 . 履修上限数と魅力を感じる講義数が大きくかけ離れていた。
- 265 . 総合科目は選べる授業数が少ない上に時間も遅いものが多いので何かしらの対策をとってほしい。
- 266 . 上限設定はなくしてもよいと思う。

10 . 農学部

- 267 . 一学期の履修単位の上限がひくすぎます。履修単位の上限を撤廃してその代わりに一年生向けに履修単位の目安を示した方がいいと思います。
- 268 .
- ・ 一学期の上限が低すぎます
 - ・ W E B 登録は大変便利だった。
 - ・ コアカリキュラムといておいて、選択できる授業科目が一つというのはひどすぎる。
- 269 .
- ・ 上限設定はいらない。
 - ・ G P A が下がるというのは完全に個人の責任であるので、指図されずにとりたい科目をすべて取りたかった。
- 271 .
- ・ 上限設定がきつかった。もっととりたい科目があった。
 - ・ G P A を気にするために、興味があったのに難しそうなので G P A の平均を下げないために履修を断念しなければならなくなった科目があった。一年次しか取れない授業を逃

すことにつながった。

272 .

- ・ 上限設定はいらない。
- ・ 登録締め切りまでにもう少し時間がほしい。今のままだと一回も授業を受けずに取らなければならなくなるから。
- ・ WE B 登録は使いやすかった。

273 .

- ・ WE B 登録は簡単で良いやり方だと思う。
- ・ 抽選を行うのが早すぎると思います。せめて一回ぐらい授業に参加してから授業科目を決めるようにしてくれるとありがたいです。

276 .

- ・ 前期の上限設定は明らかに少なすぎる。実際にはあと 4 単位程度増やしても十分履修できる。頑張れば 30 単位程度の履修もできる。
- ・ WE B 登録は少し面倒だと思う。

277 .

- ・ 一学期の上限設定をもう少し多くしてほしい。
- ・ GPA の分布を公表してほしい。学科分属があるので、自分の位置を知りたい。

279 .

- ・ WE B 登録はすぐにできるから便利
- ・ 単位の上限設定は止めたほうがよい。一学期に授業が取れなくて本当に困った。
- ・ GPA によって学科分属を行うのは止めたほうがよいと思う。学生の希望を優先すべき。

280 . 上限設定が前期が少なく、後期は多い。

284 . 上限設定はいらないと思います。授業は自分の責任のもとでとるものだと思うし、学生には好きなものを好きなだけ自由に学ぶ権利があると思います。

285 . 第二学期に比べ、第一学期の上限設定単位数が少なすぎる。

286 . 一学期は必修科目で上限単位数にほぼ達してしまったので、今学期の特例措置は嬉しかった。しかし、とりたい授業が必修やほかの取りたい授業と同じ時間であったり、空いている時間の選択の中に取りたいと思っている授業がなかったり(外国語演習のみだったり)したので、あまり選択の範囲が広がったように感じなかった。

287 . 前期もっと単位が取れるようにしてほしい。

288 . 上限は廃止するべきです。

289 . 一学期の上限と 2~4 単位増やしてほしい。

290 . 上限設定が悪いのではなく、単位数が少なすぎる。必修科目や選択必修科目を履修すると残りが 3 単位しかなかった。

11 . 獣医学部

- 293 . 前期の上限設定が低すぎる。
- 295 . 上限設定は受講できる講義の幅が狭くなり、不便だと思う。
- 296 . W E B 登録について ; 自宅でできるようにしてほしい。きちんと登録できたか不安。
- 297 . W E B 登録はわかりやすくよかった。

12 . 水産学部

300 .

- ・ W E B 登録の方が楽だった。登録期間も長かったしささっと済んだ
- ・ 前期の上限設定は単位数が少なかった。上限はない方がよい。
- ・ G P A は面倒くさい。G P A を気にして履修を止めた科目がある。

301 .

- ・ G P A は自分の成績が数値化されて比べやすいと思うし、これからの意欲にもつながるとおもうのでよいと思います。学部内とかで順位が出るともっとよかった。
- ・ 上限設定はいらないと思う。消化できる単位は人によって違うと思うからです。

303 . W E B 登録は手書きよりもやりやすく、簡単で短時間で出来るからよかった。

304 . W E B 登録はやめたほうがよい。

305 . 履修登録は手書きのほうがよいと思う。

306 . 必修科目が多いせいかイマイチ大学生になった実感がわからない。

G P A が関係してきて高校生の時よりも忙しい。もう少しよい意味で気楽に授業を受けたい。また教職科目を取る人は一学期に授業を選択することすらできないので上限単位数を増やすか、必修科目を減らすか、地学 や情報学 等の教職科目は一学期ではなく、2 学期にも入れるかいずれかにしてほしい。

313 . w e b 登録は便利だと思う。

314 . w e b 登録はいつでもできるし、混雑しないし楽だしとてもよかった。

315 . 英語 で w e b 登録でミスをして不可になり、今度も w e b かと嫌だったが自分の必要な部分しかでてこなかったのシラバスや便覧を見るより正確かなと思った。できれば前期に得た単位を照らし合わせて移行要件(函館)に足りない項目を表示するなどがあると便利かなと思いました。あとまだ W E B への不安がぬぐえないので、登録終了後にメールで「受け付けました」みたいなメールがくればよいかなと思いました。

319 . 前期の上限単位数が少なすぎる。札幌に留年したくない水産学部生にとっては焦りを感じてしまいます。

321 . w e b 登録するなら確認表配布をいちいちやらないで w e b 上で済ませればよいと思う。

322 .

- ・ w e b 登録で教職科目の欄で普通に調べても教職入門が出てこなかった。結局番号を入力しなければならなかった。

・一学期に受講したい授業がたくさんあったので単位制限のせいで受講することができず、
二学期にある程度余裕があったのに抽選で外れて、受けたい授業を受けられなかった。

325 . どれも導入してよかったと思うが、授業の評価の基準が曖昧だった科目がいくつかあり、GPAにも影響してくるのではっきり明記してほしい。

326 . GPAを気にする人と気にしない人では成績がだいぶ違ったように思う。上限はよかったと思う。教職をとる人はあまり選択する余地がなくてかわいそうだった。

329 .

・履修した科目の自分の評価が0～4までに点数化されていて、非常にわかりやすいということで、GPAはよいシステムだと思う。来年以降も続けてほしい。

・上限についてですが、一学期はもう少し上限をあげてほしい気もした。二学期は再履修分だけ多くとれるということで、これくらいでいいと思っています。

・Web登録は大変便利です。ただ今後学外からでも使えるようになればいいと思います。

330 . 一学期の上限設定の単位が少ないと思う。教職をとったら一般教育科目などがとれなかった。水産学部は札幌にいる期間が短いのもっといろいろとりたかった。

331 .

・後期の上限は少し多すぎ、前期は少なすぎ。

・WEB登録は楽でよかった。

所属不明

333 . Web登録はわかりやすくよかったです。

平成18年度からの新教育課程・「単位の実質化」に関するアンケート

各質問の該当項目の にチェックをしてください。

本調査は、本年度第一学期開講の全学教育科目担当の専任教員にのみ送付しています。
一つの科目を複数の教員で担当している場合は、科目の代表者のご意見をお聞かせください。
一人で2科目以上担当されている場合は、それぞれの科目についてご回答ください。

各質問に対しての回答はいずれか一つとしてください。(複数回答不可)

担当科目： 71.主題別科目 72.総合科目 73.一般教育演習 74.共通科目
75.外国語科目 76.外国語演習 77.文系基礎科目 78.理系基礎科目
79.基礎科目(実験) 80.日本語科目

本学では平成18年度から「学生の学力の多様化」を考慮して「単位の実質化」の取組みを進めています。

質問1. 新入生の「学力の多様化」について

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 全体に学力の低下を感じた | 4. 一部の学生に学力の向上を感じた |
| 2. 一部の学生に学力の低下を感じた | 5. 全体に学力の向上を感じた |
| 3. 昨年度までと特に変化はなかった | |

質問2. 「単位の実質化」の取組み(全学教育科目規程第4条「1単位の授業科目は45時間の学習を必要とする内容をもって構成することを標準とし」参照)について

6. 「単位の実質化」に配慮した授業(予習・復習をうながす等の)を展開した
《例えばどんな配慮ですか：》

.....
7. 「単位の実質化」について特に配慮はしなかった

質問3. 「単位の実質化」による学生の学習態度の変化(受講態度, 質問回数や質問内容等)について 今学期初めて全学教育を担当された方は で回答願います。

- | |
|---------------------------------|
| 8. 全体に過年度生より授業に熱心に取組んでいると感じた |
| 9. 一部の学生は過年度生より授業に熱心に取組んでいると感じた |
| 10. 昨年度までと特に変化はなかった |
| 11. 全体に熱心に取組んでいると感じた |
| 12. 一部の学生は熱心に取組んでいると感じた |
| 13. 特に感じるものはなかった |

質問4. 学生の予習・復習の状況について

今学期初めて全学教育を担当された方は で回答願います。

- | |
|------------------------------------|
| 14. 全体に過年度生より予習・復習に時間をかけていると感じた |
| 15. 一部の学生は過年度生より予習・復習に時間をかけていると感じた |
| 16. 特に変化はない |
| 17. 全体に予習・復習に時間をかけていると感じた |
| 18. 一部の学生は予習・復習に時間をかけていると感じた |
| 19. わからない |

(裏面につづく)

質問5 . 試験結果等(期末試験・レポート等の成績)から見た全体的な学習成果について (G P Aの全学平均値は17年度1学期の2.23から18年度は2.35に向上しました。)
今学期初めて全学教育を担当された方は _____ で回答願います。

- 20.全体に過年度生よりも成果が上がった
- 21.一部の学生は過年度生よりも成果が上がった
- 22.過年度生と大きな違いはなかった
- 23.過年度生よりも成果が上がらなかった
- 24.全体に成果が上がった
- 25.一部の学生は成果が上がった
- 26.特に感じるものはなかった
- 27.成果が上がらなかった

質問6 . 成績評価にあたり,自分の担当した授業科目全体の前年度のG P A値は意識しましたか?

- 28.意識して評価した
- 29.特に意識しなかった

質問7 .(一般教育演習,外国語演習等,抽選により履修許可を与える科目の担当の先生へ)
学生からも,教員からも,授業を一度受講してから抽選するようにしてほしいとの要望があります。それを実施した場合,履修者の確定が現行より1週間程度遅れ,授業開始から2週間ほど後(概ね2回の授業終了後)になりますが,支障はありませんか?

- 30.履修者が決定しないまま2回の授業を行うのは,支障が多い
- 31.履修者が決定しないまま2回の授業を行うことに,特に支障はない

質問8 .(一般教育演習の担当の先生へ)([_____] 内には数字を記してください。)

一般教育演習全体の履修者の減少に伴い,履修者がごく少数の演習が増え,教育効果・効率の点で問題が指摘されています。抽選後に履修者が5名あるいは3名以下の演習については,開講中止としてはどうかとの意見もあります。これについてどう思われますか?

- 32.履修者が A [_____] 名以下の場合,開講中止とするほうがよい
- 33.たとえ1名でも希望者がいるなら授業を行うべきと考える
- 34.どちらとも言えない

今年度ご担当の一般教育演習の履修者は何名でしたか? B [_____] 名

質問9 . 新教育課程,「単位の実質化」についてご自由にご意見をお聞かせください。(別紙を追加しても結構です。)

質問4：学生の予習・復習の状況について

回答数	269 回答数		33 回答数		19 回答数		63 回答数		12 回答数		30 回答数		14 回答数		3 回答数		72 回答数		17 回答数		3 回答数			
	不明3																							
合計	人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%	
	人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%	
14.全体に過年度生より予習・復習に時間をかけていると感じた	15	6%	2	6%	0	0%	4	6%	0	0%	2	14%	0	0%	6	8%	1	6%	0	0%	0	0%		
15.一部の学生は過年度生より予習・復習に時間をかけていると感じた	33	12%	3	9%	0	0%	7	11%	2	17%	5	21%	1	33%	12	17%	0	0%	0	0%	0	0%		
16.特に変化はない	166	62%	26	79%	18	95%	40	63%	9	75%	18	60%	9	64%	0	0%	32	44%	11	65%	3	100%		
17.全体に予習・復習に時間をかけていると感じた	8	3%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	3	10%	0	0%	1	33%	2	3%	1	6%	0	0%		
18.一部の学生は予習・復習に時間をかけていると感じた	23	9%	0	0%	0	0%	4	6%	1	8%	2	7%	0	0%	12	17%	3	18%	0	0%	0	0%		
19.わからない	13	5%	2	6%	0	0%	4	6%	0	0%	1	3%	0	0%	1	33%	3	4%	1	6%	0	0%		
無回答など	11	4%	0	0%	1	5%	3	5%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	5	7%	0	0%	0	0%		

質問5：試験結果等(期末試験・レポート等の成績)から見た全体的な学習成果について

回答数	269 回答数		33 回答数		19 回答数		63 回答数		12 回答数		30 回答数		14 回答数		3 回答数		72 回答数		17 回答数		3 回答数			
	不明3																							
合計	人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%	
	人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%	
20.全体に過年度生よりも成果が上がった	16	6%	2	6%	1	5%	6	10%	1	8%	0	0%	2	14%	0	0%	3	4%	1	6%	0	0%		
21.一部の学生は過年度生よりも成果が上がった	35	13%	6	18%	0	0%	6	10%	2	17%	5	17%	3	21%	0	0%	13	18%	0	0%	0	0%		
22.過年度生と大きな違いはなかった	140	52%	20	61%	14	74%	32	51%	5	42%	17	57%	9	64%	0	0%	32	44%	8	47%	3	100%		
23.過年度生よりも成果が上がらなかった	24	9%	3	9%	3	16%	7	11%	3	25%	1	3%	0	0%	1	33%	4	6%	2	12%	0	0%		
24.全体に成果が上がった	13	5%	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%	2	7%	0	0%	1	33%	7	10%	1	6%	0	0%		
25.一部の学生は成果が上がった	19	7%	2	6%	0	0%	4	6%	1	8%	1	3%	0	0%	1	33%	6	8%	3	18%	0	0%		
26.特に感じるものはなかった	13	5%	0	0%	0	0%	3	5%	0	0%	3	10%	0	0%	0	0%	5	7%	1	6%	0	0%		
27.成果が上がらなかった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%		
無回答など	9	3%	0	0%	1	5%	3	5%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	2	3%	1	6%	0	0%		

質問6：成績評価にあたり、自分の担当した授業科目全体の前年度のGP A値は意識しましたか？

回答数	269 回答数		33 回答数		19 回答数		63 回答数		12 回答数		30 回答数		14 回答数		3 回答数		72 回答数		17 回答数		3 回答数			
	不明3																							
合計	人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%	
	人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%		人数		%	
28.意識して評価した	98	36%	8	24%	8	42%	16	25%	4	33%	8	27%	5	36%	1	33%	40	56%	6	35%	2	67%		
29.特に意識しなかった	166	62%	23	70%	11	58%	47	75%	8	67%	22	73%	9	64%	2	67%	32	44%	9	53%	1	33%		
無回答など	5	2%	2	6%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	12%	0	0%		

回答数	148 回答数		10 回答数		8 回答数		63 回答数		8 回答数		19 回答数		12 回答数		1 回答数		18 回答数		7 回答数		1 回答数	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
合計	77	52%	3	30%	4	50%	33	52%	7	88%	11	58%	7	58%	1	100%	7	39%	4	57%	0	0%
	67	45%	7	70%	4	50%	27	43%	1	13%	8	42%	5	42%	0	0%	11	61%	3	43%	1	0%
	4	3%	0	0%	0	0%	3	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

質問7. (一般教育演習, 外国語演習等, 抽選により履修許可を与える科目の担当の先生へ) 学生からも教員からも, 授業を一度受講してから抽選するようにしてほしいとの要望があります。それを実施した場合, 履修者の確定が現行より, 通開程度遅れ, 授業開始から2週間ほど後(概ね2回の授業終了後)になります。支障はありませんか?

30. 履修者が決定しないまま2回の授業を行うのは, 支障が多い
 31. 履修者が決定しないまま2回の授業を行うことに, 特に支障はない
 無回答など

回答数	人数	%
87		
一般教育演習		
	52	60%
	23	26%
	9	10%
	3	3%

質問8. (一般教育演習の担当の先生へ) ()内には数字を記してください。()一般教育演習全体の履修者の減少に伴い, 履修者がごく少数の演習が増え, 教育効果・効果の点で問題が指摘されています。抽選後に履修者が5名あるいは3名以下の演習については, 開講中止としていただくかとの意見もあります。これについてどう思われますか?

32. 履修者が()名以下の場合, 開講中止とするほうがよい	
33. たとえ1名でも希望者がいるなら授業を行うべきと考える	
34. どちらとも言えない	
無回答など	

回答数	履修者が1名の合開講中止		履修者が2名の合開講中止		履修者が3名の合開講中止		履修者が4名の合開講中止		履修者が5名の合開講中止		履修者が6名の合開講中止		10名~20名の場合開講中止	
	人数	%	人数	%										
50	1		2		6		2		30		8		1	

総回答数	No.71		No.72		No.73		No.74		No.75		No.76		No.77		No.78		No.79		No.80		合計
	主明別	総合	一般教育演習	外国語	共通	外国語	外国語演習	文系基礎	外国語	外国語演習	文系基礎	外国語	外国語演習	文系基礎	外国語	外国語演習	文系基礎	外国語	外国語演習	文系基礎	
33	19	63	12	30	14	3	72	17	3	268											

更新日時
2006/12/1 15:00

不明分は, 科目別回答には反映されていない(合計には含む)。

平成 18 年度からの新教育課程・「単位の実質化」に関する教員アンケート

担当科目別・意見

主題別科目

質問 6 : GPAに限らず、成績配分にはいつも気をつけてきた
思ったほど変化はないが、履修者は減少した。キャップ制の趣旨は解るが整備されていない。必修、選択の見直し(削減)が必要
外国人留学生の日本語能力レベルが非常に低く、授業についてこれない
画一的に基準を設けずとも、各授業内容に応じた工夫をすればよいのでは
急にアメリカの真似をするのはいかなものか。しかし、はじめたからには全体責任なので努力すべきであり、かたんに後戻りすべきではない
学力より霸気の減退が著しいようだ。講義中の反応の小ささが顕著。全学的なやる気の低下に向かう危険を憂慮
学生が半分に減少。オムニバス形式では予習復習がなじまない
聴講によって興味を示す場合もある。実質化が教育にプラスかは不明
TAがいれば宿題やテストをしたかった。100名以上いると1人では困難
開講科目が多すぎる上時間が重なって受講者数が少ない。学生の興味喚起には時間がかかるので、教育の本質なのだからカリキュラム再考を
上限に達している学生の聴講を許可した。制度の厳格化は学生の意欲をそく恐れがあると感じる
上限設定は無意味であり効果もないと思われる
去年より履修者が減った。これをより生かす授業をしたい
授業は通年で行うが2学期は受講生が極端に減少するため、考慮しにくい
全体には学力の上下は感じなかった

総合科目

質問 7 : 支障はあるが、3週くらいほしい
上限設定の廃止を希望。生活習慣を啓蒙する意味のある科目で、多くの学生に聞いてもらいたいが、受講者数が少ない(例年 400人、40人)(別紙あり)
質問 3 : 一部の学生は過年度より熱心に取り組んでいない(項目不足)
上限が厳しいので履修者が減少(50-30程度)。複数教員からモチベーションが下がるとの声。履修届けを出さず聴講だけの学生が増えた
一般教育演習以外でも履修者が少なければ中止や整理し効率アップを
やる気ある学生の意欲を殺している 質問 3 : 著しい熱意の低下を感じた
履修者の顕著な減少あり。活気が低下した側面も。履修しないが聴講したいという学生がいたので、興味より得意分野優先の傾向か
05年度までは150人が40人に減少。その中で真面目に受けているのは10人強くらい。卒業に単位を必要とする2,3,4年生を除けば1年は半分程度だろう。せっかくの実質化措置をとった全学教育でこのような状態は皮肉

一般教育演習

実質化は法律に基づいている。ほんとうに講義時間と同じだけ予習復習は必要か?画一的講義がいれば授業は疑問
質問 7 : 現行でも一度受講後に提出できるよう心がけている
質問 8 : 教員の判断で中止してもよい、とするのはどうか。「単位の实質化」意味不明
質問 7 : 抽選で第二希望に割り当てられたら辞退して他科目を受講できる道をつけてほしい。上限のため割り当て科目を破棄できないと他の抽選なし科目が履修できない
実質化は良いこと。一般教育演習は現状のように開講すると無駄になるので、数を減らしたほうがよい
質問 5 : 新たに導入した科目なので比較基準がないが、学生は真面目に取り組んでいるという印象。質問 8 : 初回授業は60人以上。抽選に外れても履修許可を求めた者もいた。実質化と上限設定は良心的な考え方と思う。あとは教員がどれだけ学生へ課題を出し、評価を得る

か。教員の仕事量は増えるが真の教育のためならそれも必要
履修数減で予復習が増えるわけではないから宿題を出し返却をしなければならず、学力差が大きいと個別対応になり、50名を超えれば困難。実質化は教員の意識(授業設計)に依存するのでは。TAを活用したいが現状では無理。履修制限は授業の要求度によってかかるものであり、最終的な責任は学生にあると思う。教員の目標と違う学び方の自由もあるべきでは。GPAは必修と必要単位数のみで計算するようが良いと思われる。制限をかけると省力化につながる可能性が
質問8：異性1名の場合。答えにくい。履修者数は記憶なし。質問7：一度受講してから抽選する方法になぜ変更？頻繁に変わると学生も教員も迷惑。受験者全員に面接し教育市外のある学生を選抜するほうがよい
各教員に周知のため繰り返しアピール必要
履修者が減って驚いたか熱心な学生がほとんどでよかった。ジョブ・ガ・ムは一回にして、受けるか真剣に決めて脱落しないようにすべし。GPAは少人数で高めになっても許してほしい
質問4：項目がおかしい。明らかに悪くなった。質問5：むしろ時間をかけなくなった。質問7：抽選はやめるべき。教員に任せるべき。学生は読書やレポート提出を回避する傾向にあり。安易なほうへ流れている。実質化は悪化
質問7：事前に開講人数を教員に判断させてはどうか
踏み込んだ調査が必要。システムだけ変わると学生が迷惑する。質問8：内容によって決めるもの
質問8：1名なら次年度以降開講しないことを考える
実質化のための制限は基本的に賛成だが、時間数の意味については再検討が必要
学部GPAを上げるため秀優の乱発があるので、割合に違反したら再提出させてはどうか。進級や卒業に認定しないが成績簿に記載する履修を認めてはどうか。前期20単位以上履修者は意欲があるので後期も増やせる仕組みはどうか。1年で一定単位以上履修すれば2年の上限をはずしてはどうか
現状では一般教育演習の意義がない。理・工・農は上限のため選択はほぼゼロなのに開講コマ数を見直していない。3名では学生の意欲がなくなる
上限設定は無意味であり効果もないと思われる
質問8B：4科目で29人
他大学との共同授業のため、実質化を考えるのは難しい
大学は本来学ぶ場で、自主的なもの。実質化、復習制限などは強要に見えて反対。
質問3&4熱心でない生徒が増えた。質問5：一部は下がった

共通科目

上限設定は問題が多い。履修が容易な科目に集中し、単位がとりにくければ敬遠される。(例：理の統計学)
以前から缶外のテーマ研究をさせており、負担が大きいのが積極的な者が受講
複数の非常勤講師とTAの授業で実質化を図るのは難しい

外国語科目

質問8：毎回課題を出したら半分になったが残りの者には学習効果を感じた
外国語演習は5名程度が最適
学生のレベルが広がり、予想外に下の者が入っている。実質化には補講などをして基礎力を挙げる必要がある。
質問5：上下のばらつきが多くなった
実質化は以前から意識しているので違いは見られない。学力低下の要因は外国語科目の単位数削減。外国語能力の低下はたいへん憂慮される
質問7：やりにくいのは確かだが、シラバスだけで判断させるのは問題。質問8：開講中止の意味が解らない。マニアックなものや厳しいクラスに受講者がいなかったとしても、部局としての責任はどうなるのか。単に中止では済まされない

初級に配分された学生や再履修の学生の心理的悪影響ややる気のなさを懸念する声もあったが、自分はむしろ支えあっているように感じた。レベル別でも実質化は行われている
上限設定は不要。学生の意欲をそく。科目が減ったからといって予習復習をしているかは疑問。成績が二分化し中間が減少。下位が増加の傾向
実質化をどう学生に説明しているか知りたい。新しい試みの意図が教員に十分伝わっているとは言いがたい。現場の声が反映されている様子もない。相互のコミュニケーションの改善が必要
質問 8:6 名中 2 名高校生
初年度ということもあり、答えづらい質問
具体的でわかり易い説明がほしい
英語を担当。学生の質は去年と大差なく、実質化を気にせずいつも通り評価
英語 担当。学部によって出来不出来の差が大きい。実質化は苦慮

外国語演習

外国語科目は専門の教員が担当すべき。時間割上の調整が一層重要になるため、できるだけ時間を分散させるべき
実質化は個人的に以前から工夫しているため、その意味で変化なし。むしろ「評価せず」廃止、上限設定、リタイアを認めない仕組みなど、マイナス面が大きい。質問 7：一般にもクーリングオフやお試し期間があるのを考慮すべき。質問 8：「効率」と「教育効果」は別レベルの問題。専門教育では 3 名以下などという事は当然のようだが、全学も同様に必要な教育は行うという理念が求められる

文系基礎科目

登録して全課題未提出の場合は不可でなく未履修にすべき
趣旨を理解していない教員がいるのが問題。宿題を出すと評価に手間と時間がかかりすぎる

理系基礎科目

高校での既・未履修者が混在する理系基礎科目を担当しているが、学生により授業以外に要する時間が大きく 2 分され、単位の実質化が困難。既・未履修者が混在しないクラス編成を希望
質問 5：試験結果等短期的でなく、長期的な意味で学生には良いこと。「実質化」でなく「GPA 制の方式によりバラつきをなくす」に反対。大きな弊害あり。工と農を複数年担当したが、意欲、成績、授業態度などまったく異なり、他の先生でも同様に成績判定していた。(低いクラスは低く、高いクラスは高く)従って、バラつきのあるほうが実態を反映。なくすと同じ GPA でもレベルが異なる。目標をクラスごとに変え、到達度で評価すればバラつきはなくなるが、良いのか
「単位の実質化」はあたりまえ。取り組んでいなかったら大学教員の怠慢。実行できていなかった大学の体質改善が重要
質問 6：一部は過年度生より予復習に時間をかけていない印象。 ・上限設定に新たな例外科目は反対。必要なら必修化、学生に希望されるよう充実を図るべき ・履修者が少なくとも開講すべきだが、次年度以降は要再検討 ・今年度履修者が減少の科目は継続の可否を検討し、抽選科目は開講増加すべき。同一担当が 2 コマ提供してもいい
学生に時間的余裕が生まれ、学習効果を生んだと思う。一方で一部学生の学習能力低下が見られ、単位取得が困難に(格差が引き立つため)。質の出口制御にはよいが、大量の留年者の対策をしたいところ
上限設定をしてもすぐ効果が出るかは疑問。年度ごとの学生の質のばらつきの範囲内
GPA の向上は成績判定前に理系の GPA が低いこと、優良可の比率を目標値に近づけるなど通達があったからでは? クラスのレベルが低くても一定の比率で成績をつけるのは不合理
2 年対象で必修でないためか数が 1/5 に減少。興味のある学生と、単位を落とした学生に二極分化したため、後者に合わせるしかなかった。「単位の実質化」で大学らしい授業がなくなっていく気がする
下限を満たすかのチェックを厳しく行えばよいこと。上限設定で将来の天才の目をつぶす恐れがある

1)再履修クラスも数によって開講を中止すべき。再履修者は成績の基準を決めておかないとGPAに問題が出る。同じ試験をすると一度不可のものGPAがあがるという矛盾が起こり得る
全学教育は雑学であることに意義があるので、実質化の意味がわからない。むしろ有害と考える
質問1：初年度なので判断不可(他の回答者の「その他」共通理由)
基礎地学担当。受講者数に影響があったようだが、プラス評価
学力低下を心配したが逆だった。毎回出欠確認、宿題提出が良かったかも。努力しているが、いまいちな教員もいると聞く。講義の質を管理して欲しい
必要学習時間は学生によって違うはず、杓子定規の割り当ては違和感
質問3と4は疑問がおかしい
3：多くが集中していない、理解力が落ちていると感じた。4：意欲が低下。予習復習しているとは感じられない
質問4：かけていない。予習復習させることに意味を感じない
出席率100%近く、よかった
生物学は教科書を利用した効果の様子を見る必要あり
配慮しなければ、と反省
100名近い受講生の全学教育科目で質を問うのはおかしい。大学は理解することを重要視していないのでは
基礎科目、外国語等の実質化は望ましいがオムニバス形式は多数の学生の参加が欲しいので例外化してもよいのでは
学生を甘やかす今の方針では実質化は期待できない。不可が何%以上はダメと言うなら諦めるべき
質問4：今の学生は予習復習の時間をかけていない
学生に説明の必要がある。ほとんどの学生が予習の必要を感じていない
理では進振りの際、専門科目に力点をかけることがあるが、上限設定もあり、一般教養(選択)をあまりとらなくなるのが予測され、問題になるのでは。質問5：ガイドラインを教官が守った効果か。学生の努力の効果ならよいが
教官が忙しくなり、教育に集中できないのは問題。教育評価をきちんと行い、教育の貢献に重きを置く評価法を導入すべき
上限設定のため履修者が激減したクラスがあり、知識の欠落が出る不安。学生の興味に応じて適当に配分すべき。機械的に予習復習の時間を割り振っても現実離れする。過度の上限設定は反対。質問5：採点基準の変更で成績の平均は上昇した
成績評価割合の統一を余儀なくされ、従来の秀が優より上という意味が変化。米国に倣ってGPAが低い学生は低いレベルの大学へ転学させるべきでは

基礎科目(実験)

学生にどれだけ浸透しているか不明
中学高校大学受験と偏差値付けで来たのに、大学や大学院でも同じ概念で割合で成績をつけるのは間違っていると思う
質問5：過年度生はいなかった
担当した自然化学実験は新設科目。単位の実質化の意味はあると思う。質問7、ぜひ実施すべき。講義能力のない教官は退場すべき。改革に期待

日本語科目

質問2：取り組んでいたが、やめた(意見参照)。質問3：留年を続ける意欲に乏しい学生がいなかったため、前よりよく見えた。意見：学生は予習をしない前提(参考文献：宇田光『大学授業の改革』)で授業をしている。私費留学生はバイトに忙しく、意欲にも乏しい者もいるような現状では集中できる授業設計のあり方があってもよい

不明

複数教員担当の講義では予習のやりようがない科目がある
TA、図書館、事務、FD等のシステムが整備されていない、教養と学部の連携もない状態で授業タリと評価のみ欧米的にしても無意味。教員の

負担を強要し、モチベーションが下がる。意図を把握している教員の数も疑問。(前問無回答)

長文のご意見については要約させていただきました。

2006年12月1日現在

平成18年度からの新教育課程・「単位の実質化」に関する
学生・教員アンケート調査(報告書)

発行 : 2007年2月

編集 : 高等教育機能開発総合センター
2006年度コアカリキュラム調査検討グループ
代表 安藤 厚

連絡先 : 〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
高等教育機能開発総合センター
高等教育開発研究部

E-mail : thoso@high.hokudai.ac.jp